

ねこの餌やりに関するマナー

「ねこは屋内飼養が基本です。」

(環境省 家庭動物等の飼養及び保管に関する基準)

飼主がいないねこに餌を与える人は、ねこの幸せだけでなく、周囲の人に対しても配慮することが必要です。

可哀想だからといって、餌だけを与え周辺の環境を損なうことは動物愛護ではありません。動物、人が快適に暮らしやすい環境をつくるためにも、次のようなマナーやルールをきちんと守ってください。

○猫に餌を与える方は、餌の後始末・ふん尿処理を行いましょう。(猫の行動範囲は約 200m と言われています。)

○猫がゴミを漁り周辺を汚した場合は、速やかに片付けましょう。(防護用ネット等を設置するのも効果的です。)

○上記対応をできなくなるまで猫が増えないように、不妊・去勢手術を実施しましょう。(餌をあげるということは責任が伴います。)

○複数人で餌を与えている場合は餌付け場所等を自治会と十分に相談して、決まった場所、時間で行いましょう。(ねこは色々な場所で餌をもらっている場合があります。)

○動物が好きな人ばかりではないことを知っておきましょう。(アレルギーなどでねこに近寄れない、触れられない人もいます。)

※上記マナーは餌やりがいけないということを行っているものではありません。責任を持ち動物と人が暮らしやすい環境づくりを目指すためのマナーです。

